

## 一般社団法人日本粘土学会 2020 年度第 1 回理事会議事録（案）

日 時：令和元年 9 月 10 日（火）12:00～13:00

会 場：埼玉大学 全学講義棟 1 号館 203 教室

出席者：理 事(22 名)：山崎淳司、河野元治、中川昌治、佐藤 努、蛭名武雄、日比野俊行、大川政志、太田俊一、岡田友彦、小口千明、亀島欣一、川俣 純、寒河江竹弘、笹井亮、鈴木憲子、鈴木正哉、高木慎介、高橋範行、中戸晃之、牧野知之、横山信吾、渡邊雄二郎

監 事(2 名)：月村勝宏、志々目正高

理事以外の常務委員(3 名)：伊藤健一、田村堅志、樽田誠一

事務局：川島朝子

欠席者：理事(6 名)：伊藤弘志、大河原正文、桑原義博、手束聡子、万福裕造、森下智貴

成立確認：理事総数 28 名の過半数 14 名、出席理事 22 名で理事会の開催は成立

### 審議事項

#### 1. 2020 年度常務委員会委員（資料 1）

佐藤常務委員長より資料に基づき 2020 年度常務委員会委員について説明があり、承認された。その後、新常務委員である樽田討論会実行委員長より挨拶があった。

#### 2. 委員会委員の選出（資料 2）

佐藤常務委員長より以下の委員会委員について説明があった。

- (1) 2020 年度学会賞等選考委員会委員
- (2) 2020 年度学術振興積立金運営委員会委員
- (3) 2020 年度企画委員会委員
- (4) 2020 年度参考粘土試料委員会委員
- (5) 2020 年度役員候補者推薦委員会委員
- (6) 2020 年度選挙管理委員会委員および立会人

企画委員会委員および参考粘土試料委員会委員に推薦されている伊藤弘志理事について、本人の意向を確認することとした。

以上、審議の上承認された。

#### 3. 2020 年度事業計画年間スケジュール（資料 3）

佐藤常務委員長より年間スケジュールについて確認があった。本年度は選挙の年なのでその日程が加わっているとの説明があった。

以上、審議の上承認された。

#### 4. 粘土科学討論会について

##### (1) 第 64 回粘土科学討論会について

樽田実行委員長より日程（9/15～17）と会場（工学部：長野市）が発表された。多くの方の参加をお願いします、との発言があった。

##### (2) 第 65 回粘土科学討論会について

佐藤常務委員長より第 65 回粘土科学討論会は実行委員長を笹井理事とし、島根大学で開催の内諾を得ていることが発表され、笹井理事から挨拶があった。

以上、審議の上承認された。

## 5. 会費値上げ等について

山崎会長より財政健全化のため、会費の値上げを考えているとの提案があり、以下の様な意見が出された。

- 学会の活性化なども含めて討論をする必要がある
- 若い会員が継続的に入会してくれる方策を検討する必要がある
- 若手の会を充実させて学生を正会員に引き留める。現在はボランティアで運営している若手の会を学会としてサポートするのはどうか。
- 他学会では討論会収入を運営費に当てているところもあり、本会も以前はそうだったので、会費では無く討論会の参加登録料を値上げして、利益をあげてはどうか。
- 夏の学会、セミナーなど討論会以外の事業を考えてはどうか。
- 参考粘土試料頒布が好調なので、会員ではない企業に向けた講演会はニーズがあるのではないか。
- 若手を取りこむのであれば、上司を説得しやすいセミナーや勉強会を企画する必要がある。例えばメチレンブルー測定法など。

以上の意見を踏まえて、次回の理事会で会長が会費値上げ等について提案をすることとなり、承認された。

## 6. その他

- (1) 「粘土学会で発行している雑誌を今後どうするか」という発言があった。蛭名 Clay Science 編集委員長より、投稿数が少ないので今後について明日の編集委員会で議論する予定であることが報告された。
- (2) 会計より学会誌については賛助会員への配布が財政を圧迫している面もあるので、冊子を止めて、バナー広告を載せるようにしてはどうかとの意見があった。

報告事項  
特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

令和元年 月 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

代表理事（会長） 山崎 淳司 ㊟

代表理事（副会長） 河野 元治 ㊟

監 事 月村 勝宏 ㊟

監 事 志々目 正高 ㊟